

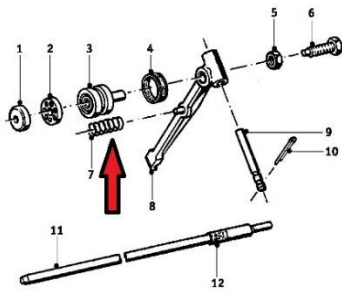
ゴムの緩んだパンツ クラッチリリーススプリング バネにまつわるエトセトラ

ギアボックス後端にあるクラッチリリースレバーのリターンスプリング、他モデルと同じ部品なのか1960年代から途切れず純正部品として供給されていました。しかしながら部品としての要件を満たしていません。具体的には全長が10ミリほど短い、また両端の処理が適切でないため座りが悪くなっています。デメリットとして①クラッチハンドレバーのタッチが悪い、②自由長が短いので乗車中に脱落する、ワイヤーロックで落ちてでも紛失しないように工夫している例も多く見ます。

クリメカでは適切な寸法と形状を求め専用品として製作しています。

クラッチ操作が重くならないように、また走行中に脱落しないよう両端を絞って座りを良くしました。発進時などの半クラッチがコントロールしやすいようレバータッチ・フィーリングを向上させています。

「神は細部に宿る」といいますがほんの小さな、細かいところをひとつひとつ詰めていくと見た目では判らぬ「痒いところに手が届く」ような快適な相棒に育っていきます。



バネ自体は／5も共用



上：クリメカ特注品 下：BMW純正

CRIMECA